

脱炭素×復興まちづくりプラットフォームの概要

背景・目的

- 東日本大震災・原発事故による被災12市町村では、脱炭素化の取組を組み込みながら、大きな 被害を受けた地域の復興・再生を図るまちづくりの取組を推進するとともに、地域資源を最大限 活用しながら、環境・経済・社会が好循環する特色ある地域循環共生圏を形成することが必要。
- 被災12市町村等において、地域内外の多くの主体が共通の目標や認識を持った上で、長期にわたり連携していくことを目指し、令和5年3月23日に「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」を設置。令和5年9月現在で約220の関係者が本プラットフォームへ参加。

主な対象エリア



プラットフォーム本体

浜通り地区の脱炭素と復興まちづくりの実現のための

情報交換やネットワーク形成

<情報交換>

- ・各市町村の脱炭素の取組や 課題
- ・各事業者の実施可能事業や 得意技術
- ・国の施策や制度、技術的助言
- ・先進事例の共有など

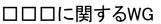
<ネットワーク形成>

- ・各市町村の課題に対し、 担い手となる事業者や支援 ツール等をマッチング
- ・必要に応じて、個別WGを 立ち上げ、課題解決や事業 化に向けて議論を深掘り

個別WG

- ・個別テーマについての深堀り
- ・モデル事業の創出に向けた議論

〇〇〇に関するWG



△△△に関するWG